

塾長の独り言 NO 105 H 20.9.4

福田総理辞任の影響は？」

9月1日、福田総理辞任のニュースにはビックリ！しましたね。
その後のニュースでは、次期自民総裁選でどうやらこうやら・・・ばかり。
本当にマスコミの対応はこれでいいのか？

ちょっと違った角度・視点でこの福田総理辞任事件を考え、見てみたいと思います。
企業の問題解決事例では、問題の真因を探究することが第1のステップです。
何故、福田総理は辞任せざるを得なかったのか？
国会運営を乗り切る自信がなかったから。その要因は？
公明党離れ、餃子事件、事務所費問題、厚生労働省問題、内閣支持率最低などなど。
しかし、最大の問題は何か？ といえば、次の総選挙（衆議院選挙）に自民党が勝てないからでは？

そこで、問題解決の第2ステップでは、問題解決の手段・方法となり
・・・次の総選挙で誰が自民党の総裁であれば、小沢民主党に勝てるのか？
人気の麻生太郎か、女性改革派の小池百合子か、それとも若手の代表石原御曹司、昔の名前の
政策通、与謝野氏か？・・・などなど、そんなことになりますね。
これが、普通に考えられるシナリオであり、解決策です。

しかし、これで本当に真の問題（真因）を解決できるのか？

表面上ではなく、真の問題は何か？

・・・それは国民が自民党政治体制にNOを示しているのではないのでしょうか？

ここで、考えなければならないのは、問題解決には2種類の方法があるということです。

1つは、表面上の問題を解決する、目先の 対処」

もう1つは、真の問題を解決する、本質的な解決の 対応」

では、表面上の問題と真の問題の違いは何でしょうか？

・・・私は視点・立場・視野の違いだと感じております。

自民党の視点、自己中心的な立場で、浅い・狭い・短期的な視野でしか、考えられない。
それが、表面上の問題をすぐに対処して、いつの間にか顧客の支持を失うことになります。
真の問題を掘り下げ、本当の問題を解決するためには、国民の目線、深く・広く・中長期的な視野で
モノゴトの本質を見つめ、重要度・緊急度を考えながら、将来どこに行くのか？ 考えることです。

<コメント>

我々もビジネスや企業経営において、すぐに安易な手段である目先の 対処」していませんか？

それをやっている、大切な顧客から見捨てられる結果に繋がるようになりますよ。

常に自分自身（自己）を振り返る習慣をしましょう。将来の可能性を3つの軸から考えましょう！

顧客ターゲット・・・真の顧客は誰か？

顧客ニーズ ...何を求めているのか？

独自技術 ...提供側のウリは何か？

企業の経営分析でも、日本政府の政治でも、同じですよ。